



## ライオンズクラブさんから新しい本をいただきました

ライオンズクラブさんから図書券をいただき、新しい本を購入しました。2回に分けて紹介する、第2弾です。今回は、後期図書委員会のメンバーが新刊紹介をしますので、参考にしてください。

### 『暗号サバイバル学園』（山本省三：学研プラス）

この「暗号サバイバル学園」第1巻では、暗号の天才を育てる「学園ナゾトキア」に情熱だけで入学してしまった普通の小学生ハルト。暗号授業は、毒ヘビやワニのプールが用意され、まさにサバイバル。主人公ハルトは生き残れるのか。

この本では、主に暗号を解いていく本で暗号を解いているときは楽しかったりします。そして、暗号が解けた後は、「ああ～、こういうことか。」という気持ちによくなったりします。

それでは、みなさん、この「暗号サバイバル学園」をみてみてください。

6年 図書委員長 斎藤

### 『おしりポケット ウオンバットのあかちゃん』（ゆうきえつこ：そうえん社）

この本は、ウオンバットの子どもの目線で、ウオンバットの成長を書いた写真絵本です。

そして、たまにウオンバットの特徴がかいてあり勉強できます。

ウオンバットがかわいく、5分程度で読めるので空いた時間などで見ていやされてください。

それと、表紙とタイトルのインパクトが強いです。

6年図書委員 大河原

### 『小学生からの憲法入門 ほとんど憲法（上）』（木村草太：河出書房新社）

この本は、「ほとんど憲法」というタイトルで、春夏秋冬に分かれていて、お題をもとに小学生でもわかるように解説されています。

「多数決がふさわしいのはどんなとき？」など、おもしろいマンガも加え書かれています。

長いですが、好きなところを拾い読みしながら読むと、あきずに読めると思います。

ぜひ、読んでみてください。

（作者は、都立大学の先生です。毎日小学生新聞に掲載されていたものをまとめたものです。）

6年図書委員会 今成

## 『小学生からの憲法入門 ほとんど憲法（下）』（木村草太：河出書房新社）

「私たちの権利を守っているものは何か?」「国家の不当行為はだれが救済するの?」「外国に住むのも旅行するのも自由なのはどうして?」「自分のやりたくない仕事をおしつけられたら?」などの、憲法についての疑問は、この世の中には少なくありません。

この本は、そんな国のルールへの疑問について、この本にたびたび登場する「トミナガ」に質問する形で、「トミナガ」がおもしろおかしく、それでも「そうなんだ!」と、納得できるように解説していく本です。

上巻からでも下巻からでも、どちらから読んでも楽しめます。

5年図書委員 磯貝

(偶然にも、上下巻を二人の図書委員が選んで紹介文を書いてくれました。)

## 『ねむいんだもん』（ゆうきえつこ：福田幸広写真：そうえん社）

この本は、いろいろな動物がねているすがたをうつした本です。この本をおすすめする人は、動物が好きな人や1~3年生です。

理由は、かわいい動物のねがおが見れたり、文が短いので低学年の子も読めるかなと思いました。

5年図書委員 齋藤

(すご〜く気持ちよく寝ている動物たち。動物たちの無防備なこんな表情を撮る写真家福田さんもすごいですね)

## 『パンツをさがせ！パンツがぬげちゃった怪獣パルゴンのきょうふ!!

### 算数王国大ぼうけん』（小室 尚子：ワニブックス）

この本は、おもしろい本が好きな人におすすめです。

主人公はパルゴンといいます。パルゴンは怪人ワルーというやつにパルゴンのパンツをぬすまれました。そこで、取り返しに行きます。でも、怪人ワルーは迷路を作って手下たちにパルゴンと戦わせます。パルゴンは勝っていき、怪人ワルーのところにたどり着きました。なぜか、怪人ワルーは、パーティを開いていました。ですが、ハプニングが起こってしまいました。

パルゴンが計算して解決しました。それで、パンツを返してくれました。

この本は、算数を勉強しながら楽しく読めるので、ぜひ、読んでみてください。

4年図書委員 上條

\*11月11日（水）お昼休み貸し出しスタートします。

\*最終ページにすべての書名一覧を付けてあります。また、職員室前の廊下に新刊紹介コーナーもあります。

## 『トラブル旅行社（トラベル）砂漠のフルーツ狩りツアー』

(廣嶋 玲子：金の星社)

「問題だ。きみはのどがからからだ。何か飲みたくてたまらない。そんな状態で家に帰ってみるとなんと、冷蔵庫の中には見たこともないおいしそうなジュースがあるではないか。さて、きみはどうする？」

今回の主人公、時川大悟は大喜びで飛びついた子だった。そんな大悟が飲んだジュースは、母が外国の友人からもらったものだった。夜に家族で飲むはずだったものの代わりに探すため大悟はトラブル旅行社（トラベル）の砂漠のフルーツ狩りツアーへ向かう。

4年図書委員 清水（そ）

(『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』の作者が書いています。)

## 『世界一やさしいシナモンロールとはじめる子ども将棋入門』

(里見香奈女流四冠 監修：マイナビ出版)

将棋をやってみたいと思う人や、苦手な人にオススメです。

この本は、将棋の本を開いたら将棋の国というところに来てしまったシナモンたちといっしょに将棋のルールを楽しく学べる本です。

この本では、わかりにくい駒がかわいいキャラクターになっています。かわいいマンガやイラストでとても分かりやすく将棋のルールを説明してくれているので、将棋をやってみたいと思う人、将棋が苦手な人でも、読んでみれば将棋ができるようになると思います。

みなさん、ぜひ読んでみてください。

4年図書委員 植松

## 『化け猫落語①おかしな寄席においでませ』(みうらかれん：講談社 青い鳥文庫)

このお話は、穂村幸歩という子が主人公の話です。

幸歩と同じクラスの神宮時豪太というガキ大将におどされ、クラス半分の人が豪太の夜のきも試しにつれてこられた。幸歩は、春に転校生してきたばかりの神保理緒さんと落語をする三毛猫に出会ってしまった。その三毛猫に「このことはわすれろ」と言われたが、翌日には、その三毛猫の弟子になっていた。

その理由が知りたい方は、ぜひこの本を最後までお読みください。

4年図書委員 清水（こ）

(「化け猫落語」シリーズは、3巻まで入っています。)

\*11月11日（水）お昼休み貸し出しスタートします。

\*裏面に、すべての書名一覧を付けてあります。また、職員室前の廊下に新刊紹介コーナーもあります。